

基礎・応用研究開発 (H19~H21)

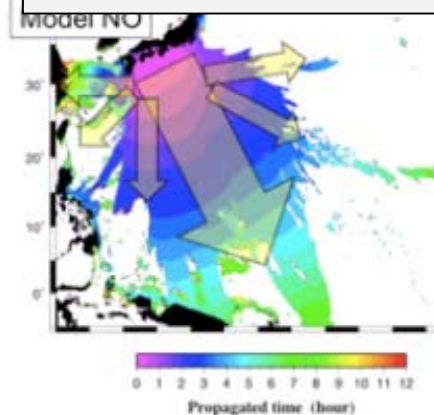
「日本周辺で発生する津波を対象とした環太平洋情報ネットワークの開発」

関西大学 河田恵昭教授 (研究分担:秋田大学, 東北大学, 埼玉大学, 京都大学, 人と防災未来センター)

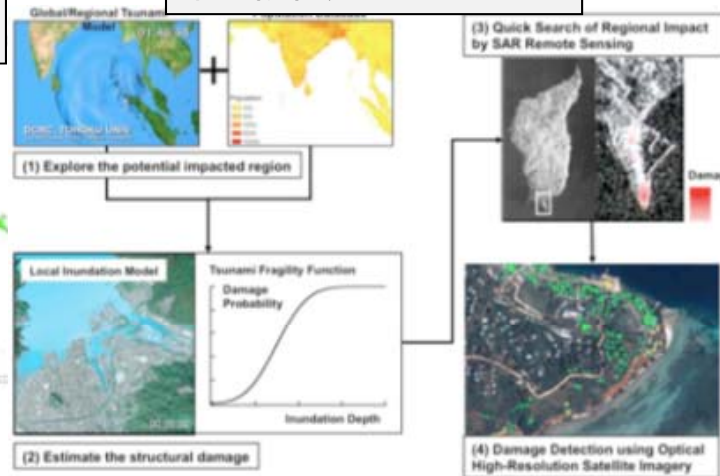
— 研究開発概要 —

- 津波数値解析や観測技術は進歩しているが, 2004年インド洋津波では各国が情報共有できず被災。
- 国際的な津波防災情報の共有・普及を行うネットワーク構築のための情報システム技術の開発
(我が国周辺で発生した津波による環太平洋での津波災害をプロトタイプとして開発)

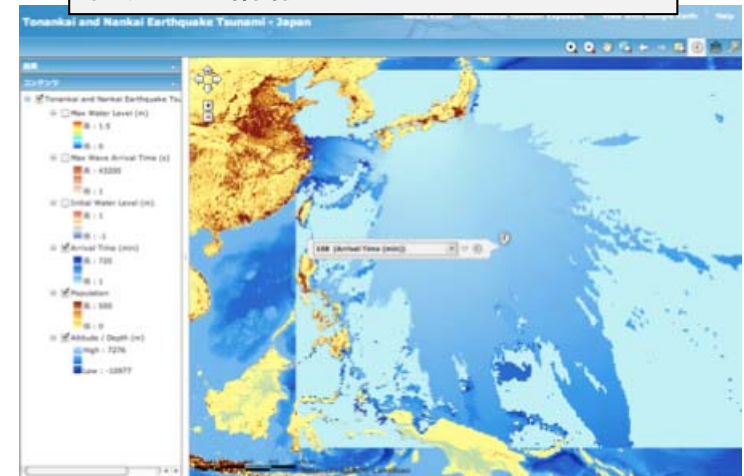
日本周辺の巨大津波は
環太平洋諸国へも来襲



津波被害定量化のフロー



開発した情報システムのプロトタイプ



— 研究開発成果・今後の展開 —

- 環太平洋における津波災害軽減のための情報システム技術(プロトタイプ)を開発。
- 我が国周辺で発生する津波のシミュレーションを実施し, 南西太平洋における到達高さや到達時間, 効果的な観測体制等を明確化
- 津波シミュレーション, 津波曝露人口, 衛星画像解析およびフラジリティカーブを組み合わせ津波被害を定量化
- 世界的ネットワークの中での我が国の生活・経済活動の継続性を支える広域巨大災害対応技術の高度化に貢献
- 我が国の国際貢献として, 遠地津波および各国の近地津波の被害を抑止・軽減する事前対策を促進
- 緊急時において地域の災害対応や国際支援の調整を円滑化・高度化させる情報基盤整備を促進